※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０８

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術の授業の集大成として、美術Ⅰ、美術Ⅱで学んだ表現方法や創造性を生かし、密度の高い表現活動に挑戦します。
・コンクール展などへの出品をめざしたサイズの大きい作品制作や、会場への作品搬入・展示、展覧会の運営など校外での活動も行います。
・これまでの授業は西洋美術に偏りがちであったため、十分な時間を割いて日本美術に取り組みます。
・鑑賞の授業を行います。各課題に関連した作品の鑑賞や生徒同士で作品を批評し合います。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・日常を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化について理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
・日常を美しく豊かにする造形や美術の働きの意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、個性を生かして発想し、構想を練り、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深められるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	【鑑賞】	オリエンテーション （美しいとはなにか） ① 教科書『美しいとはなにか』のページに掲載されている作品を鑑賞する。 ② 『美しいとはなにか』について考えた後、インターネット上に公開されている写真の中から、自分自身が美しいと感じるものを探して、クラスで共有し、感想を述べあう。	b：写真から受けた美しさについて、思いをまとめ自分にとっての美しさとは何かを深く考えようとしている。 c：教科書に掲載されている写真を鑑賞し、その写真から感じ取った美しさについて主体的に意見を述べている。 友達の発表を聞き、様々な考え方や感想に触れ、多様性への理解をより一層深めている。		ワークシート	発表 授業観察
	【版画】	抽象表現に挑戦する （シルクスクリーン） ① インターネット上に公開されているフリー素材の写真などから、線や形を選び取り、それらを再構成して抽象的に平面構成する。 ② その平面構成を元にシルクスクリーンの版を作成する。 ③ 印刷用紙に絵の具で色や形を自由に描く。 ④ その印刷用紙にシルクスクリーンで何度も重ねて印刷し、抽象的な作品に仕上げる。 ⑤ 作品にタイトルをつける。	a：版画の種類とその表現技法の違いについて作例を鑑賞しながら理解している。 教科書の作例などを鑑賞しながら抽象表現について理解し、シルクスクリーンの特徴を生かして抽象的な主題を生成しようとしている。 b：配色や印刷用紙、印刷方法を創意工夫し、表現豊かに重ね刷りを施して美しい画面づくりを行おうとしている。 c：毎時間振り返りシートに記入することで、新しい表現技法や抽象表現への理解を深め、主体的に学ぼうとしている。	ワークシート 下絵	作品	振り返りシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	【彫刻】【鑑賞】	私の箱 （立体コラージュ） ① ジョセフ・コーネルの作品を鑑賞する。 ② 箱の中に様々な素材や思い出の品、紙粘土などで作ったオブジェを詰め込み、独創的な世界を作る。 ③ 互いの作品を鑑賞しあう。	a：ジョセフ・コーネルの作品鑑賞を通して、自分自身の中にある懐かしさや喜び、悲しみなどの記憶を箱の中に閉じ込めた表現を理解し、そのために必要な素材やオブジェの持つイメージやメッセージを感じ取ろうとしている。 ｂ：素材やオブジェの持つイメージやメッセージを組み合わせて新たなイメージや独創的な世界が作り出されることを理解し、自身の主題を生成しようとしている。 ｃ：互いの作品を鑑賞する中で、友達が表現した記憶の世界をたどり、思いを共有し、積極的に味わおうとしている。	構想シート	作品	ワークシート 授業観察
	【鑑賞】	日本美術を学ぶⅠ （歌舞伎の鑑賞） ① 教科書を参照しながら歌舞伎の基礎知識を学ぶ。 ② インターネット上で公開されている歌舞伎の紹介動画を視聴する。 ③ 各々がテーマを決めて歌舞伎について調べ、レポートにまとめる。全員分のレポートを一冊の本にまとめる。	a：日本の伝統芸能である歌舞伎について、基本的な約束事や衣装、化粧について学び、総合芸術としての歌舞伎の理解を深めている。 ｃ：難解という理由で敬遠されがちな歌舞伎であるが、総合芸術として様々な側面から興味を深め、インターネット等で調べるなどして主体的に理解し、発言しようとしている。	ワークシート レポート		ワークシート 授業観察
3学期	【絵画】【鑑賞】	日本美術を学ぶⅡ （鳥獣人物戯画模写） ① 絵巻物『鳥獣人物戯画』のレプリカを鑑賞しながら絵巻物について学ぶ。 ② 鳥獣人物戯画の好きな場面を模写する。	a：絵巻物の楽しみ方や歴史、漫画・アニメとの関係性などについて広く理解しようとしている。 模写を通して、日本画に用いられる墨、筆、和紙などの用具とその使い方、筆遣いや濃淡、空間表現など日本画特有の表現技法を学び、使いこなせるように練習している。	ワークシート 作品 授業観察		

※令和４年度以降入学生用

	【絵画】	日本美術を学ぶⅢ （絵巻物を作る） ① 1人1枚担当して絵を描き、クラス全員の作品を1本につないで絵巻物を作る。 ② 和紙、筆、墨を使い、日本画の表現技法で描く。 ③ 絵は各々自由に描いてもよいが、1本の道が全てのページでつながるようにする。また、最初と最後のページに当たった生徒は、物語の始まりと終わりを考えて描く。	b:学んだ日本画の表現技法や空間表現を生かして主題を生成し、日本画の美しさや良さを感じながら創造性豊かに表現しようとしている。 c:高校生活最後の作品として、共同制作を楽しみ、最後につなぎ合わせた際、意外な発見や驚きにつながるよう、主体的に表現しようとしている。		作品	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度